

赤字削減・解消計画書(市町村)

(平成30年度から平成35年度まで6ヵ年計画)

都道府県名	保険者番号	保険者名
埼玉県	00110015	川越市

① 赤字の発生状況	年度(赤字発生年度)	平成28年度				赤字の原因			
	法定外繰入金 ※1	2,097,412			千円	<計画対象となる赤字額> 432,021,860円(2,097,411,779円－黒字分1,281,718,847円－精算額383,671,072円) ・本計画において、目標とする赤字解消・削減額は、平成28年度決算ベースの赤字額8億円と本計画期間中に見込まれる解消・削減すべき赤字額の平均15億円との平均額である11億円とします。 ・赤字の原因としては、やむを得ず、保険税率を据え置いてきたことなどが挙げられます。			
	繰上充用金の新規増加分 ※2	—			千円				
	赤字額(合計)	2,097,412			千円				
② 赤字削減計画	赤字削減・解消のための基本方針				赤字削減・解消のための具体的取組内容				
	医療費適正化対策、保険税設定の見直し及び収納率向上対策に加え、「健康経営」※を実施することにより、国保財政の経営改善を図ります。 なお、保険税設定の見直しについて、応能割と応益割の賦課割合は、中間所得層への配慮及び後期高齢者医療制度への安定移行の観点から6対4を基本とします。 ※「健康経営」・・・被保険者の健康の維持・増進を図ることで、被保険者の生活の質(quality of life、QOL)の向上と保険者の経営の改善・安定化を目指すもの。				①『「健康経営」及び医療費適正化対策』により111,000千円、②『保険税設定の見直し』により900,000千円、③『収納率向上対策』により89,000千円、計1,100,000千円(①～③合計)の赤字額の削減に取組みます。 取組事例 ①・・・糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施や保健事業等実施計画(データヘルス計画)の推進など ②・・・県が示す標準保険税率と本市の保険税率との乖離状況を勘案し、応益割(均等割)を中心に税率の見直しを図る ③・・・口座振替の推進、納税呼びかけセンターを活用した納付勧奨の推進など なお、詳細は、別添「川越市国民健康保険赤字解消・削減計画書」とおり。				
	年度別の赤字削減 ※3	計画年次	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	合計
		年 度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	
		法定外繰入の削減予定額(率)	97,000 千円(%)	317,000 千円(%)	32,000 千円(%)	309,000 千円(%)	34,000 千円(%)	311,000 千円(%)	1,100,000 千円(%)
		繰上充用金の新規増加分の削減予定額(率)	千円(%)	千円(%)	千円(%)	千円(%)	千円(%)	千円(%)	千円(%)
合計赤字削減予定額(率)		97,000 千円(%)	317,000 千円(%)	32,000 千円(%)	309,000 千円(%)	34,000 千円(%)	311,000 千円(%)	1,100,000 千円(%)	

※1 国民健康保険事業の実施状況報告様式5の決算補填等目的の法定外一般会計繰入額の小計額と一致していること。

※2 当該年度の繰上充用(当年度の歳入が歳出に不足し、翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てる)の額と、前年度の繰上充用の額の差引増加分。但し、累積赤字のうち削減・解消された繰上充用金がある場合は、その額を除く。

※3 率の場合は、赤字額又は削減すべき合計額に占める削減予定額の割合を記載する。なお、赤字額がすべて解消される場合には削減率100%とする。

上記のとおり赤字削減・解消計画書を提出します。

平成30年 3月 28日

(あて先)
埼玉県知事 上田 清司 様

保険者名 川越市

代表者職氏名 川越市長 川合 善明 印